

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 甲州市教育委員会
2. 研究主題 : 魅力ある学校統合事例の創出
3. 研究タイトル : 先進的ICT環境の教育利用による
魅力ある21世紀型地域創生事業
4. 研究課題 :
・統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究
・統合を契機とした学校運営システムの抜本的改革に関する研究
・統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組
5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

今回調査研究に参画する旧大和村の大和中学校と旧勝沼町の勝沼中学校については、古くから地域的なつながりや交流が行われていたことから、既に2つの旧町村間で、交流事業が行われていた。また以前から度々統廃合の話題が出されていた経緯がある。統廃合が、単なる2つの中学校の集合体ではなく、新たな共同体として、有効に機能し、教育効果が高まるとともに、それぞれの学区を合わせた地区・地域から信頼される学校づくりを目指す。そこで特色や環境を生かした教育を行うため、先進的ICT環境の設置をすることにより、地域活性化の取り組み、学校連携ネットワークの構築及び交流、実現可能であろう状況に焦点を当てた取り組みの実現を図る。

(2) 調査研究の実施状況 (平成30年度)

6月	事業計画及び研究内容の確認 コミュニティ・スクール導入に向けての学習会
7月	市議会において補正予算案可決、消耗品等発注 両校による打合せ会議
8月	第1回「21世紀型地域創生推進会議」 先進的ICT環境(同期型CSCL授業)の学習会(講師招聘) 生徒の実態把握調査の作成と実施
9月	【勝沼中・大和中にタブレット、edutab等の配布・設置】 コミュニティ・スクール(CS)導入に向けての研究・検討 郷土学習に向けての地域教材の検討
10月	生徒の実態把握調査の作成と実施(1回目) 先進校視察(神金小学校・大藤小学校・玉宮小学校) 先進的ICT環境(同期型CSCL授業)の学習の取組
11月	先進的ICT環境(同期型CSCL授業)の学習会(講師招聘) 先進的ICT環境(同期型CSCL授業)の学習の取組
12月	学校間遠隔授業モデルの検討と作成
1月	「主体的・対話的で深い学び」に関する学習会 第2回「21世紀型地域創生推進会議」 コミュニティ・スクール導入に向けての会議 生徒の実態把握調査の作成と実施(2回目)
2月	先進的ICT環境(同期型CSCL授業)の提案 文部科学省への事業完了報告作成 次年度の活動計画書作成
3月	委託事業完了報告書の提出

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール導入に向けての学習会や会議を重ね、「地域と共にある学校づくり」を目指し、準備を進めてきた。両校の校長・PTA会長・区長会長などが意見交換をし、平成31年4月から両校はコミュニティ・スクールとして新たなスタートをきる事ができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業モデルに関わるタブレットの配置数については、計画通り、勝沼中・大和中とも2人に1台を基準にタブレットを整備することができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・協働学習場面における同期型先進的学習に向けては、同期型CSCL授業を支えるツールである「edutabu」を作成・活用し、学力向上へと繋がる授業等のモデルを検討することができた。また、先進校の視察及び学習会を行うことができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPC使用という同期型CSCL授業モデルについては、大学・行政・学校の協働研究体制を構築するとともに、学校間ネットワークモデルを構築することができた。また、学校間遠隔授業モデルの検討を行うことができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・「21世紀型地域創生推進会議」を組織し、本事業の内容や方向性について意見を求めるとともに、学識経験者から情報提供や指導助言を得ることができた。

(2) 成果物等

<p>文部科学省委託「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」平成30年度事業報告書</p>
--

(3) 今後の取組予定

<p>①コミュニティ・スクールとしての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校運営協議会」を設置し、地域と共にある学校の経営ビジョンや生徒育成目標について共有化を図る。 ・「ボランティアの一覧表」などを作成し、地域人材の効果的な活用を図る。 <p>②先進的ICT環境を活用した端末の配備（生徒用及び教師用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度各校に配備しておいたタブレット端末を新たな学年に配備するとともに、教師用タブレットによる会議時間の短縮化や資料の削減に着手する。 <p>③各教科をはじめ、総合的な学習の時間、特別活動など「主体的・対話的で深い学び」の研究・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年のテーマ及び内容を決定する。【地域を題材とした学習】 ・生徒が主体的にかかわり、互いに伝え合い、教え合うことの楽しさを実感できる授業を実践する。 ・研究授業による授業実践を中心に成果や課題を分析する。 <p>④家庭学習におけるタブレット端末の活用検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化や基礎的内容の習得に向けてのタブレット端末の活用を検討し、保護者の理解を得る
